



ながよしだより

平成30年度学校便り6月号
日置市立永吉小学校
TEL 099-297-2110
FAX 099-297-2090

子どもの多様性と向き合う

学校長 藤崎 隆博

15年ぐらい前のことです。私は、メキシコシティの日本人学校で教鞭を執っていました。勤務校は、日本人が学ぶ日本コースとメキシコ人が学ぶメキシココースが同じ敷地にある学校でした。そのため、買い物等の日常生活はもちろん、学校内でも多くのメキシコ人と接する機会が多い3年間を過ごしました。任期を終え帰国した際、海外に興味をもっている方から「日本人は几帳面だけど、メキシコ人は大雑把なんだよね。」「日本は安全だけど、メキシコは危険なんだよね。」などと言われた事を覚えています。

確かにそのように感じた場面もありましたが、それが全てではなかったのです。「日本人」「メキシコ人」という二項対立の捉え方は、物事の本質から目をそらし、偏見や決め付けにつながる恐れがあります。メキシコの友人で緻密でスケジュール管理ができる人もいました。一方、日本の友人で提出期限を守れなかったり、約束の時間に遅れたりする人もいました。私は、日本人とメキシコ人という捉え方ではなく、「一人一人の多様性」に気付くことが国際理解教育の第一歩だと学びました。

先に記した型にはまった固定的な捉え方は、身近にたくさん存在します。例えば、「(学校を比較して)〇〇学校の子は〇〇だ。」「(兄弟を比較して)〇〇はいつも〇〇だ。」という発言となって表れることがよくあります。集団には多くの個が存在し、個はそれぞれ多様な考えを持っています。このような関係性を軽視し、一人一人の背景に思いをめぐらし向き合う姿勢が欠如すると、型にはめることに終始してしまいます。その結果、物事の本質が見えなくなってしまうのではないかと危惧しています。

教育現場では、このような事態に陥らないように、一人一人に思いをめぐらすことが重要です。私が現地で学んだ国際理解教育は、学校経営の基盤である人権教育とつながっています。一人一人の子どもにそれぞれの個性があるように、育ってきた環境や生き立ちもそれぞれ異なります。永吉小学校では、子どもと向き合う基本姿勢として「見つめる、思いをめぐらす、向き合う」をキャッチフレーズにしています。そして、一人一人の子どもと向き合うために、教師が授業や学校行事、教育相談等で子どもとの対話を重視し、深い信頼関係づくりに努めています。一学期も折り返しを過ぎました。保護者や地域の皆様方の多様性を見つめる温かいまなざしに心より感謝申し上げます。

※ 永吉小学校のブログを開設しました。「日置市立永吉小学校ブログ～永吉の風～」
日々の子どもの様子を紹介しています。是非ご覧ください。
<http://nagayoshisyo.blog.fc2.com/>

いも植え



6月5日(火)、いも植えを行いました。はじめにJA南部営農センターの指導員の方にさつまいもの歴史や植え方を教えていただいた後、全校児童で楽しくいもを植えていきました。

御協力くださった赤井田さんをはじめPTA事業部や総務委員の皆様、ありがとうございました。

集団宿泊学習



5月30～31日、5・6年生が南薩少年自然の家で集団宿泊学習を行いました。

自然の中で仲間と協力し合っ
てサイクリングやカヌーなどの体験活動を存分に楽しみ、他校の児童との交流を深めることもできました。

お知らせ

◎ 先日、校区の恒吉勝俊様から、子どもたちの図書購入に役立ててくださいと御寄付をいただきました。恒吉様からは、これまでも毎年御寄付をいただいております。ありがとうございます。

第1回祖父母学級



6月8日(金)、祖父母学級が開催されました。

2校時に開講式と授業参観を行った後、2・3校時は体育館でふれあい活動を行いました。

祖父母の皆様や地域の方々にも優しく教えていただきながら、1・2年生は七夕飾り作り、3～6年生は灯籠作り
に楽しく取り組みました。3～6年生が作った灯籠は、7月に行われる招魂社六月灯夏祭りの会場に飾られます。ぜひご覧ください。

●佐土原伸也氏による六月灯のお話→



7月行事予定

◎ 毎月1日:「あいさつの日」
1日(日) PTAリサイクル活動 8:00～
6日(金) 水泳大会、学校保健委員会、PTA全体会、学級PTA
12日・13日 貯金日 14日(土) 土曜授業
15日(日) 招魂社六月灯夏祭り 16日(月) 海の日
20日(金) 1学期終業式、集団下校
21日(土)～9/2(日) 夏休み
25日(水) 市小学校水泳記録会(5・6年)